

中田中

コロナ下でも工夫し活動



 これがイチオシ

「ずんジャー」愛情深く

私たちが着ているのは仙台名物・ずんだの色のジャージーです。「ずんジャー」の愛称で親しまれ、1年生から3年生まで同じジャージーを着ています。2019年に色を変える案が出たときも、生徒アンケートで反対意見が圧倒的に多く、中田中生の「ずんジャー愛」の強さが表れました。そんな先輩方の熱い思いを受け、今もずんだ色が使われています。これからも「ずんジャー」を、愛情を持って着続け、中田中らしさが詰まった学校の伝統の一つとして守っていききたいです。

学校名 仙台市立中田中学校  
所在地 仙台市太白区中田5の15の1  
創立 1947年  
電話 022(241)1461  
校長 渡辺 哲也  
生徒 684人

中田中学校の生徒会役員会は人と人とのつながりを大切にしています。近隣小学校と連携したあいさつ運動、いじめ防止キャンペーンでの小学校訪問などを続けてきました。新型コロナウイルスの影響で活動が制限された昨年度も、工夫しながら取り組みました。一つは入学式。在校生は参加できませんでしたが「お祝いしたい」と、前校長先生が大切にしていた「You can do it!」(君たちならできる)の文字を校庭に描くことに。学校のどこからも分かるデザインにしました。二つ目は東日本大震災から10年となった「3・11追悼の会」。当時の中学生が作詞した復興ソング「仲間とともに」を復活させようと、合唱団員を募って発表しました。思いの詰まった歌に、とても感動しました。「震災を忘れない」と当時のことも話しました。つらいことも思い出しましたが、私たちにできることを考える一日になりました。私たちは伝統を途切れさせず、精いっぱいのこととをやっています。



校庭に描いた「You can do it!」と当時の生徒会役員

編集委員 島村真央、三宅真羽、富主純翔(3年)  
指導教員 高階絵理、伊藤勝敏

生徒会 伝統を切らず

わが校わがまち スクール通信



今回は 北仙台小(仙台市) 小原中(白石市)

稲刈り体験 餅もおいしく

田尻小



 これがイチオシ

心込め6年生送り出す

私たちはこの春、6年生を送る会や卒業式に向け、各学年で「6年生へのメッセージ」を制作しました。6年生との思い出を振り返りながら、一人一人が心を込めて、お祝いの気持ちを届けました。できあがったメッセージは体育館に掲示しました。どの学年も工夫を凝らして作ったメッセージを、6年生はとても喜んでくれました。全校みんなが一つになって活動できることは田尻小の自慢です。これからもみんなですてきな学校にしていきたいです。

学校名 大崎市立田尻小学校  
所在地 大崎市田尻通木一所谷10の3  
創立 1873年  
電話 0229(39)0048  
校長 一條 美奈  
児童 122人

学校の田んぼで米作り

田尻小学校では毎年、刈るのは疲れました。でも、自分たちが手作業で行うことで貴重な体験ができました。収穫したお米は学校近く、餅工房さんに依頼して、全校児童分のあんこ餅を作ってもらい、みんな食べてもらいました。とてもおいしいあんこ餅にしてもらえてうれしかったです。田尻小には、毎年おいしいお米が実り、おいしいお餅を作ることができます。この田んぼがあります。大切に、おいしいお米を育てていきたいです。



稲刈りを終えた田んぼで、田んぼを管理してくださった村上さんと記念撮影(さつえい)。写真はあんこ餅のパッケージにも使いました

編集委員 高橋優希、鈴木羅央、佐々木桂、武田歩乃果(6年)  
指導教員 野田かさね